

由良川フォーラム (第2回)

～ 森と川の今を考える～

■と き：平成18年8月26日(土曜日)
午後1時から4時30分



■ところ：舞鶴市西駅交流センター (JR西舞鶴駅3階)

■内 容

●講 演
「由良川の魚の多様性とルーツ」
近畿大学農学部環境管理学科
教授 細谷 和海 氏



「いま日本の森の何が問題か」
～過剰な期待と進まない対策の間で何ができるのか～
東京大学大学院農学生命科学研究科
講師 蔵治 光一郎 氏

●事例紹介
森林保全活動をはじめとした由良川流域での市民の取組を紹介
福知山環境会議 サケのふるさと由良川を守る会
(特)間伐材研究所 舞鶴市与保呂自治会

■参加費等：無 料 (定員150名) 事前申し込み不要

■そ の 他：市民団体等の活動紹介コーナーを設けます。
パネル等の展示を希望される場合は、下記へお問い合わせ下さい

■問い合わせ先
◎京都府中丹広域振興局農林商工部 TEL：0773-62-2508

森から湧き出た一滴の水は、里を抜け海へと流れて行きます。森・里・海は古くから川を通じて密接に繋がっており、私たちの祖先はそこからの恵みを上手に生かしながら生活をしてきました。

しかし、近年、人と自然との関わりが薄れてきたことから、森には人手が入らずに荒廃が進み、里では野生動物の被害が広がり、川や海ではかつていた魚の姿が減るなど、少しずつ変化が現れて来ています。

このフォーラムでは、森と川の今の姿を知り、地域で暮らす人々が、今、何をしなければならないかを考え、地域での様々な取組へと広げて行くことを目的としています。

主 催 京都府・京都大学フィールド科学教育研究センター
後援(予定) 福知山市・舞鶴市・綾部市・南丹市・京丹波町
国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所

〈講師略歴〉

ほそや かすみ
細谷 和海 氏

1951年生まれ。京都大学農学部卒。同大学院を経て研修員。農学博士。水産庁中央水産研究所魚類生態研究室長を経て現在近畿大学農学部環境管理学科水圏生態学研究室教授。環境庁「緊急に保護を要する動物の種の見直しのための淡水魚作業部会」(レッドデータブック)座長ほか、各種委員を歴任。専門は淡水魚の系統分類学。

くらし こういちろう
蔵治 光一郎 氏

1965年生まれ。東京大学農学部林学科卒。同大学院博士課程在学中、青年海外協力隊員としてマレーシア・サバ州森林局森林研究所に勤務。農学博士。東京大学農学部附属千葉演習林、東京工業大学大学院総合理工学研究科環境理工学創造専攻等を経て、現在、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林愛知演習林講師。専門は森林水文学

〈会場案内〉



舞鶴市西駅交流センター（JR西舞鶴駅3階）
舞鶴市字伊佐津213-8

協 力

(特)エコロジーカフェ (特)間伐材研究所 サケのふるさと由良川を守る会
(特)里山ねっと・あやべ 森林ボランティアまいづる 福知山環境会議
舞鶴市与保呂自治会